



飯能ロータリークラブ会報



唐竹晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida

ロータリー：変化をもたらす

RI会長 イアンH.S.ライズリー

2570地区ガバナー 細井保雄

第3グループ
ガバナー補佐 木川一男

「RI戦略計画を皆で一緒に実行しよう!!」

第2778例会 2017. 11. 15

——ロータリー財団月間——

天候 晴 (NO. 54-20)

会長 和泉由起夫 幹事 土屋良一

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 吉田(行)君、吉澤君

例会場：ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX(042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 和泉会長
- ・黙禱 小崎裕之(元)会員ご逝去
- ・ソング それでこそロータリー
- ・卓話 青田精一様

【会長報告】

11/12(日)「はんのう生活祭」に出店し、ポリオプラス、認知度向上のためのPR活動を社奉・国奉・増強・プログラム・親睦の各委員会と連携し実施。有難うございました。増強はあと一步。応援して頂きたい。東京の第2750地区では一時、会員数4900名を擁し「5000名に！」と小躍りされていたようですが、結局4900を割り込んでしまった。日本全体では6月に700名が入会し、2800名が退会している。第2570地区(1330余名)では6月に15名入会、44名退会。何処の奉仕団体も会員減に悩んでいるところです。一層のPRで1名でも多くの会員を温かくお迎えしたいと思います。

【幹事報告】

第7回理事会、クラブ協議会の案内を配付。各委員長、発表は2分以内でお願いします。小崎様の通夜・告別式の案内を配付。駿河台大学より第22回外国人留学生日本語スピーチコンテストへの御礼状が届いています。

【委員会報告】

◎雑誌委員会 町田君
「友」11月号の紹介。横組P3、茂木部門委員長の卓話もありましたが、タイムリーなR財団についての記事。P7、特集「インターアクターと連携する」インターアクトクラブとは

RCによって提唱された12~18歳の青少年・高校生ための社会奉仕クラブだそうです。

【出席報告】無届欠席0 福島出席向上委員長

会員数		当日		前々回修正	
全数	対象	出席数	出席率	出席率	
57名	6名	56名	98.25%	91.23%	

【M U】

11/9(入間) 沢辺君

11/12(はんのう生活祭) 和泉君、土屋(良)君
吉田(行)君、小谷野君、杉田君、中山君
前島君、森君、藤原君、吉澤君
矢島(高)君、大崎君、神田(敬)君、坂本君
馬場君、間邊君

11/14(日高) 山川君

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

・青田部長様ようこそ。本日は卓話よろしく
お願い致します。有難うございます。

細田(伴)君、細田(吉)君、矢島(巖)君
吉島君、吉田(行)君、中里(忠)君

・入会記念お祝い有難うございます。吉島君
・結婚記念日お祝い有難うございます。本橋君
・妻の誕生日お祝い有難うございます。

大附君、服部君
・孫がU-16のホッケー全日本代表に選ば
れて18~29日までオーストラリアで合宿
をするそうです。有難うございます。大附君
・早退 吉島君、田辺君

本日計23,000円、累計額452,001円。

◎29日例会当番は安藤、新井会員です。

【卓 話】

講師紹介 吉田(行)社会奉仕委員長
現在「飯能河原利用調整協議会」を受け持たせて頂いております。開発に伴う意見調整等を中心で進めておられる青田様に卓話をお願いしました。S 63年、飯能市役所入所以来、商工観光課、精明公民館、財務課、財政課、体育課等を経て収税課長就任。体育課、保険年金課、エコツアーリズム推進課の各課長を経て4月より現職。たいへんご活躍されています。

オンリーワンの水辺空間の構築

飯能市 産業環境部 観光推進担当部長 青田精一様

河川は県・国が管理するものです。市にはどんな事が出来るのか。現在、河川敷で「リバランタ」営業、ウッドデッキ貸出事業等を実施、県と共に「吾妻峡～飯能河原～矢久橋(飯能駅南口)」までの道を作るため、調整中です。

市の観光事業の方向性を位置付けている計画が3つあります。1) 第5次総合振興計画、2) まち・ひと・しごと創生総合戦略、3) 観光ビジョン。1) は法律で策定が義務付けられた、10年スパンの最上位契約です。キャッチフレーズは「飯能市から始まる日本の創生」。観光部門の位置付けは第4次まで下の方でしたが、今は一番上。大きな目標になりました。2) は地方創生に関する計画。「メツァ」と連携し、効果を市域・山間地区に誘導します。3) は私共の一番の大きな計画です。H 28年8月、体験型・着地型観光への見直しが行われました。「大きな観光地の隣の小さな部分を個人やグループで楽しむ」。今やニーズは、マス・ツーリズムから体験、交流、着地型にシフトしている傾向にあります。「メツァ」だけではない「観光はんのう」を進めるための「都市回廊空間」のイメージ図です。「メツァ」は民間で、「トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園」は市(公営)+指定管理者(民間)で、飯能河原・天覧山は市+地域住民で、それぞれ運営。これら3つの交流拠点を繋ぐ「シンボル・トライアングル」の中の中心市街地にまず人を呼び込み、そこから山間地区等に誘導する。エコツアーリズムのレベルアップも図りたい。

昨年頃から飯能河原の堰周辺の環境が大幅に変化しました。上流部には自然が残っています。「やっと飯能河原が皆の手に戻って来た」という住民意識をしっかりと捉えながら環境整備を行っていきたい。河川敷は基本「自由使用」の反面、「商売をやってはいけない」というのが特徴です。そんな中、H 23年、行政が住民を交えた協議会を立ち上げる場合には商業規制を撤廃してもよいという規制緩和が行われました。この制度を導入し「河川のオープン化」を図るため「飯能河原利用調整協議会」を立ち上げました。吉田(行)委員長が会長で、市職員、自治会、関係団体の皆様と議論を行っています。「リバランタ」には昨年度5～6千人が訪問。ウッドデッキは観光協会の管理で7～8件の貸し出し。特に地ビールのフェスタは好評でした。周辺にはブル



ワリーレストランやベーグル等の店も出来、グルメによる異文化体験等も可能となっております。LEDによる、割岩橋ライトアップ計画を現在策定中(予算約3千万円)。「オンリーワン」にこだわり日本初のスポットライトを導入予定です。

登山家の故・田部井淳子さんも「吾妻峡から飯能河原までの道が出来たらすごい事だね」と言われていました。「川の国埼玉はつらつプロジェクト」で、県と民間、地元の方と道の検討を進めています。このエリアは地形的にも珍しく、渓谷部・中流部・下流部と3つに大別される河川の、渓谷部から中流部までの変化を1.2kmという短距離内で体験出来る、日本でも数少ない場所との事です。埼玉県は県域における河川の占める割合が3.9%と全国一で、また、荒川に川幅日本一の所がある「川の国」。市としてプロジェクトに応募し、H 28年度、他の5エリアと共に採択されました。対象区間は「吾妻峡～矢久橋」。現在、散策路(左岸か右岸かの)のルートを検討中です。「流れ橋」は車椅子の通行を可能にしたい。「トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園」までのルートが繋がり、「都市回廊空間」が広範囲で活性化される事が期待されます。遠足は日高市よりも利用者が多く、飯能駅南口からすぐ川に下りられるようになり、交通事故の心配等も減ります。飯能はエコツアーのトップランナー。自然学習フィールドとしての魅力の向上も期待出来ます。「メツァ」への訪問者を「回廊」内に呼び込み、滞在時間を延長させて、市街地活性化に繋げたい。

「(一社)奥むさし飯能観光協会」のDMO化も考慮中。国の「ビジット・ジャパン」の地方連携事業では各自治体がお金を出し合い、外国人誘致を図っています。お蔭様で4月からの6か月、「トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園」を中心に3、4千人の台湾人がお見えになっています。インバウンドへの対応は「オール飯能体制」の確立が必要です。商工会議所と観光協会の連携強化のため、会議所内に「観光産業部」を設置し、新たなアイデアの創造、収益事業の推進等も考えております。「観光」は「光を観る」。「王は国の良い所を観て将来の政策を考えよ」と中国の古い書物にあります。「オール飯能」で一体となって「観光」を推進する事が今後の市の発展に結びついていくのではないかと。引き続きご指導頂ければ有難いと思っております。



11/12(日)「はんのう生活祭」に出店しました。